



# 2025年 本屋大賞

全国の書店員の投票で  
選ばれた**ベスト10**

2023年12月～2024年11月に刊行された  
日本人作家の小説の中で、  
書店員自身が自分で読んで、  
いちばんお勧めしたいと思った作品です。

Supported by

**NOLTY**<sup>®</sup>

手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は  
本屋大賞を応援しています。

**大賞**

『カフネ』

阿部 暁子 (講談社)

- |     |                |                 |
|-----|----------------|-----------------|
| 2位  | 『アルプス席の母』      | 早見 和真 (小学館)     |
| 3位  | 『小説』           | 野崎 まど (講談社)     |
| 4位  | 『禁忌の子』         | 山口 未桜 (東京創元社)   |
| 5位  | 『人魚が逃げた』       | 青山 美智子 (PHP研究所) |
| 6位  | 『spring』       | 恩田 陸 (筑摩書房)     |
| 7位  | 『恋とか愛とかやさしさなら』 | 一穂 ミチ (小学館)     |
| 8位  | 『生殖記』          | 朝井 リョウ (小学館)    |
| 9位  | 『死んだ山田と教室』     | 金子 玲介 (講談社)     |
| 10位 | 『成瀬は信じた道をいく』   | 宮島 未奈 (新潮社)     |